

第5期 雄武町総合計画

後期実施計画書

様式1

No. 09010040

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ・事業期間 平成21年度～ ・事業内容 雄武ダムの維持管理費
基本施策	1 農業の振興	事業優先度	A	
単位施策	1 土地基盤の充実	政策事務分類	1 単独自治事務(例規)	
事業名	基幹水利施設管理事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	雄武ダムの維持管理	ハード/ソフト事業区分	#N/A	
事業目標	適切な維持	関係例規・法令名	有 雄武ダム管理条例	
住民参加	無	関係個別計画名	無	
住民協働				

全体計画 事業内容		平成25年度 事業内容	平成26年度 事業内容	平成27年度 事業内容	平成28年度 事業内容	平成29年度 事業内容	
計画内容	平成21年度から供用開始している雄武ダムについて、施設の点検整備、管理を適正に行う。	・点検整備費 ・施設管理費 ・施設費 ・調査費 ・諸油脂費 ・電力料 補助対象事業費 20,717千円 (補助率60%)	・点検整備費 ・施設管理費 ・施設費 ・調査費 ・諸油脂費 ・電力料 補助対象事業費 25,776千円	・点検整備費 ・施設管理費 ・施設費 ・調査費 ・諸油脂費 ・電力料 ・修繕費 補助対象事業費 29,405千円	・点検整備費 ・施設管理費 ・施設費 ・調査費 ・諸油脂費 ・電力料 ・修繕費 補助対象事業費 43,122千円	・点検整備費 ・施設管理費 ・施設費 ・調査費 ・諸油脂費 ・電力料 ・修繕費 補助対象事業費 24,808千円	
	事業費(千円)	150,858	23,109	26,793	30,461	44,392	26,103
計画事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	86,310	12,430	15,478	17,643	25,874	14,885
	地方債	62,600	10,500	11,100	12,300	18,000	10,700
	その他	590	118	118	118	118	118
実績事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	28,108	12,642	15,466			
	地方債	21,900	10,800	11,100			
	その他	259	126	133			
一般財源	1,442	6	1,436				
特定財源の名称	基幹水利施設管理事業補助金 基幹水利施設管理事業債	【評価・実績】	(実施内容等) 点検整備	(実施内容等) 点検整備	(実施内容等)	(実施内容等)	
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	適切な維持	適切な維持	適切な維持	適切な維持	適切な維持	
第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	102%	105%	0%	0%	0%	
	全体達成率	16%	34%	34%	34%	34%	
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆				

事業名	基幹水利施設管理事業	評価者	管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者	作成者 職氏名	農務係長	南 慎一

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	用水受益者、ダム施設	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	各種設備5箇所 ・維持管理、調査8件		
【抱える課題やニーズは】	各種機器及び設備等の維持管理並びに更新費		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	適正な維持管理を行うことにより、受益者への用水供給を適正に行うとともに、各種機器点検や調査を行うことにより不良等の早期発見や機器更新の延伸により施設全体の長寿命化を図る。		① ・各種設備点検委託業務実施:8件 ・維持管理、調査委託業務実施:5件	目標年度	平成26年度
				目標値	13件
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	かんがい用水の合理的な利用を促し、農業生産性の向上と農業経営の安定を図る。	② ・改修又は更新の実施 予定件数:3件 実施件数:3件	実績値	13件	
			達成度	100.0%	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	点検整備	取水放流設備、電気設備、制御施設、観測設備、無線設備、繫船設備等の点検委託業務			
	施設管理	休日保安、洪水時対応等業務(管理補助員)			
	施設維持管理、調査	管理用道路の草刈・除雪業務、貯水池内流木処理業務、貯水池内堆砂量測定業務、堤体表面変位測量業務等			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	受益者への用水供給を適正に行うために必要である。
必要/概ね必要/課題あり		全部	
		一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	各種設備の点検や施設の管理を行い、用水供給のための正常機能を維持している。
有効/概ね有効/課題あり		達成	
		ほぼ達成	
		下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	実施した事務事業については、一部直営で行うなど、鋭意コスト削減を行っている。
効率的/概ね効率的/課題あり		事業費抑制	
		人員削減	
		時間短縮・作業軽減	
		その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	受益者(使用者)が一律の料金を負担しているため、公平と判断する。(平成22年4月1日から用水使用可能)
公平/概ね公平/公平でない		受益者負担がある	
		受益者負担がない	
		受益が一部に偏る	
		その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
施設の点検整備や維持管理により、用水供給のための正常機能を維持している。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
今後も施設の正常機能を維持すべく、継続することが適当である。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止